



年末年始の火災予防について



～ 消すまでは 出ない行かない 離れない ～

この時季になりますと空気が乾燥し、暖房器具や火気を使用する機会が増えることから、火災の発生が増加する恐れがあります。

また、年末年始は休日が多く、外出などで家を空けたり、事業所も無人になりがちです。

かけがえのない生命と財産を守るためにも、お出かけ前やお休み前はもちろんのこと、火の元には十分注意し、火災のない年末年始をすごしましょう。

【家庭及び地域における防火対策】

この時季は、暖房器具をはじめとする火気の使用が多くなります。

火災は、ちょっとした火の不始末や不注意によって起きていますので、これらの器具類は正しく十分注意して取り扱しましょう。

また、家の周囲などを整理整頓し、地域ぐるみで放火されない環境を作りましょう。

【不特定多数の者が出入りする防火対象物に係る防火安全の確保】

この時季は、百貨店、旅館、飲食店等へ出入りする機会が特に多くなります。

これらの防火対象物は、ひとたび火災が発生すると多大な被害が予想されます。

消防設備の設置、保守点検、避難設備の管理等を徹底し、安全確保を図りましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント -3つの習慣・4つの対策-

★3つの習慣

- ①寝たばこは、絶対やめる。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



★4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器などを設置する。
- ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

こんなことにも注意しましょう!!

- 家の周りに燃えやすいものを置かない。
- タバコの投げ捨てをしない。
- 電気コンセントのほこりを時々掃除する。
- 暖房器具は点検をしてから使用する。
- ストーブをつけたまま寝ない。
- ストーブの上に洗濯物を干さない。
- 石油ストーブは火を消してから給油する。
- 野焼きなどは避けましょう。



すべての住宅に住宅用火災警報器を設置しましょう!